



ワークフロー例

© 2024 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2024年12月2日

目次

Fiery サーバーの印刷印刷事例	5
用紙種類の混合のワークフロー	6
例：用紙種類の混合を利用したワークフロー	6
用紙種類の混合を使用してサンプル書籍を印刷する	7
面付けのワークフロー	9
例：面付けを使用したワークフロー	9
面付けを使用して名刺を印刷する	10
PPML と面付けのワークフロー	11
例：PPML と面付けのワークフロー	11
面付けに PPML を使用して郵便物を印刷する	12
FreeForm を使用した VDP のワークフロー	14
例：FreeForm を使用した VDP のワークフロー	14
FreeForm を使用して VDP のサンプルを印刷する	15
FreeForm 2 と用紙種類の混合を使用した VDP のワークフロー	17
例：FreeForm 2 と用紙種類の混合を使用した VDP のワークフロー	17
FreeForm 2 と用紙種類の混合機能のある VDP を使用してサンプルを印刷する	18
Fiery Hot Folders のワークフロー	20
例：Fiery Hot Folders を使用してカードを印刷するワークフロー	20
Fiery Hot Folders を使用して名刺を印刷する	20
Paper Catalog またはメディアカタログで Fiery Compose を使用するためのワークフロー	22
Paper Catalog とメディアカタログの概要	22
例：Fiery Compose を使用した Paper Catalog またはメディアカタログのワークフロー	23
Fiery Compose と Paper Catalog またはメディアカタログを使用してハンドブックを印刷する	24

Fiery サーバーの印刷印刷事例

Fiery サーバーへの出力にはさまざまなシナリオが考えられます。本書のワークフローは、実用的な例を提示するものです。

印刷事例では、以下の概念と使用方法について説明します。

- 用紙種類の混合
- 面付け
- PPML (Personalized Print Markup Language) を使った面付け
- FreeForm を使用したバリエーションデータ印刷 (VDP)
- PPML を使用した面付けと、バリエーションデータ印刷ワークフローでの Fiery Impose と PPML の使用
- ネットワーク上のホットフォルダーへの出力
- Fiery Compose と Paper Catalog またはメディアカタログを使用してジョブを作成する

サポートされているオペレーティングシステムとシステム要件については、『設定管理』を参照してください。

ワークフローでは、異なるサンプルファイルを使用します。これらはユーザーが提供するファイルであり、Fiery からは提供されません。これらのサンプルファイルをユーザー自身が作成する場合は、任意のファイル名を設定できます。

用紙種類の混合のワークフロー

用紙種類の混合機能を使用すると、特定の範囲のページを異なる用紙に印刷することができます。たとえば、1つの印刷ジョブに対して、カバーページ用には厚紙を指定して白紙を挿入し、特定ページにカラー用紙を挿入し、両面印刷を指定できます。

用紙種類の混合設定は、アプリケーションから印刷する際に、プリンタードライバーから指定することができます。Command WorkStation で、Fiery サーバーに送信済みのジョブの用紙種類の混合設定を定義および変更できます。ホットフォルダーから印刷するジョブに対して、用紙種類の混合設定をホットフォルダーで定義することもできます。

例：用紙種類の混合を利用したワークフロー

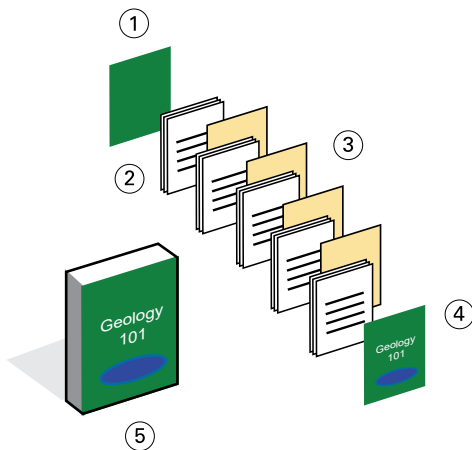
例として、用紙種類の混合設定を利用し、本の各章いの本文を普通紙に、章分けページとおもて表紙/裏表紙を厚紙に印刷します。

Command WorkStation で用紙種類の混合機能を使用するには、インポートしたファイルはラスターデータのないうジョブである必要があります。ファイルを右クリックして**ラスターデータ除去**を選択し、Command WorkStation に保存されたジョブからラスター情報を取り除くことができます。

このワークフローは、PostScript ファイルに対しても使用できます。

また、挿入するタブを指定することもできます。たとえば、章分けページに厚紙を指定する代わりにタブを挿入し、タブの部分に章番号を印刷することもできます。タブシートを使用した印刷に関する詳細については、『ユーティリティ』を参照してください。

次の図は、書籍のサンプルの構成要素を示しています。



- 1 裏表紙は厚紙に印刷
- 2 章の本文は普通紙に印刷
- 3 章分けページを厚紙に印刷
- 4 表紙は厚紙に印刷
- 5 完成した本のサンプル

用紙種類の混合を使用してサンプル書籍を印刷する

この例では、Command WorkStation でファイルを開き、ジョブのプロパティを設定し、書籍を印刷します。
このワークフローでは、以下のものを使用します。

- 書籍の内容を含む PDF ファイル
- Fiery サーバー
- 用紙種類の混合機能のある Command WorkStation
- おもて/裏表紙用の厚紙
- 章分けページ用の厚紙
- 各章の本文用の普通紙

- 1 PDF ファイルを Command WorkStation にインポートします。
- 2 ジョブを選択します。
- 3 **アクション** > **プロパティ** をクリックします。

4 **メディア**アイコンをクリックし、次の設定を適用します。

- 用紙種類の混合の**新規ページ範囲**で、ページ開始（各章が始まるページ）のページ番号を入力し、用紙の種類に厚紙、さらにその用紙のトレイを指定し、**定義を追加**をクリックします。
- 用紙種類の混合の**新規インサート**から、印刷ジョブの終わりがわかるよう最後のページの後に白紙を挿入するように指定し、**挿入**をクリックします。
- 用紙種類の混合の**表紙を定義**から、おもて表紙と裏表紙に「おもてのみ印刷」を指定し、用紙の種類に厚紙、さらにその用紙のトレイを選択し、**OK**をクリックします（該当する場合）。

5 **レイアウト**アイコンをクリックし、両面印刷を指定します。

6 **OK**をクリックし、ファイルを保存します。

7 ジョブを処理して待機します。

8 ジョブをプレビューします。

9 ジョブを印刷します。

複数部印刷する前に、1部のみ印刷して校正作業を行います。

面付けのワークフロー

面付けを使用すると、本、小冊子、パンフレットなどの各ページを1枚の大きいシートに配置することができます。シートを印刷し、折り、裁断しても、面付けされたページの向きや順序は正しいままです。

このワークフローでは **Fiery Impose** を使用します。**Fiery Impose** はクライアントベースの面付けアプリケーションで、ファイル进行处理する前に文書全体を編集および配置することができます。

メモ：**Fiery Impose** の全機能を使用するには、アプリケーションの有効ライセンスが必要です。それ以外の場合は、**Fiery Impose** はデモモードで使用できますが、ジョブは「デモ」というウォーターマークが入った状態で保存されます。

メモ：面付けは、**Fiery** サーバーでサポートされているわけではありません。お使いの **Fiery** サーバーでのサポート状況については、『ユーティリティ』を参照してください。

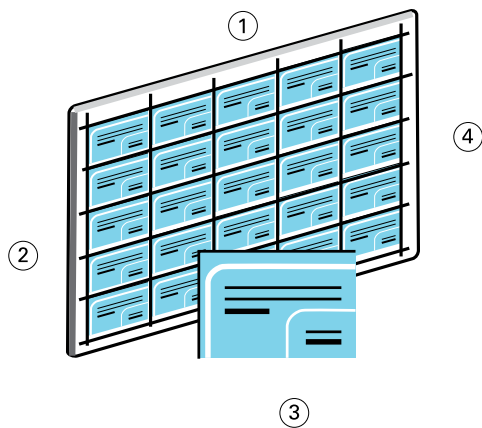
ジョブを **Fiery Impose** で開くには、そのジョブをスプール済み（非ラスタファイル）にする必要があります。**Command WorkStation** でファイルからラスタ情報を取り除くには、ファイルを右クリックし、**ラスタ除去**を選択してください。

例：面付けを使用したワークフロー

例として、11 x 17 インチの用紙に名刺を面付けし、600 枚の名刺を印刷します。

名刺の裏面にテキストを印刷するため、プリンターは両面印刷できる必要があります。標準の名刺サイズは 2 x 3.25 インチなので、11 x 17 インチの用紙1枚に 25 枚の名刺を面付けできます。

次の図は、名刺の面付け方法を示しています。



- 1 5列
- 2 5行
- 3 2 x 3.25 インチの名刺
- 4 11 x 17 インチの用紙

面付けを使用して名刺を印刷する

この例では、Command WorkStation でファイルを開き、**ギャングアップ**と**反復**を選択し、レイアウトとページマークを含むジョブ設定を作成して、名刺を印刷することができます。最後に、オペレーターは名刺をプレビューして印刷します。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- 2 x 3.25 インチの名刺を定義した PDF ファイル
- Fiery サーバー
- Fiery Impose を使用した Command WorkStation (ライセンスが必要です)
- カード用紙等の 11 x 17 インチ厚紙

- 1 PDF ファイルを Command WorkStation にインポートします。
- 2 ジョブを選択します。
- 3 **アクション** > **面付け**をクリックします。
- 4 **ギャングアップ**を選択し、**反復**を選択します。
- 5 以下の設定を適用します。
 - シートリストから、**11 x 17**のシートサイズを選択します。
 - 両面リストから、**オン**を選択します。
 - レイアウト方向リストから**横**を選択します。
 - レイアウト行と列フィールドに 5 行と 5 列を指定します。
 - マークボックスの一覧から**定義**を選択し、**トリムマークの印刷**チェックボックスをオンにします。
 - ページマークの横方向と縦方向のオフセットを **0.125 pt** に設定して **OK** をクリックします。
 - **スケーリング**リストから**カスタム**を選択し、**スケール係数**フィールドに **100** と入力します。
- 6 ジョブを保存します。
- 7 Command WorkStation に保存されているジョブの.dbp ファイルを選択し、**プレビュー**をクリックしてジョブをプレビューします。
- 8 ジョブを印刷します。
- 9 ページマークに沿って名刺を裁断します。

PPML と面付けのワークフロー

面付けに Personal Print Markup Language (PPML) を使用することができます。

PPML はバリエーションデータ印刷用の XML ベースの言語で、プリンターにテキスト要素とグラフィック要素を保存し、必要に応じて再利用する方式を採っているため、バリエーションデータジョブの印刷を高速に行うことができます。

VDP アプリケーションを使用して、マスター要素とバリエーション要素を PPML ファイルとして作成し、Fiery サーバーにジョブを出力することができます。

他のジョブと同じように PPML ジョブの面付けを行うことができます。PPML ジョブを 1 枚のシートに面付けて印刷し、裁断して積み重ねることで、正しい順序で出力できます。

メモ： Fiery サーバーのすべてのモデルが面付けと PPML をサポートしているわけではありません。お使いの Fiery サーバーが Fiery Impose をサポートしているかどうかを確認するには、『ユーティリティ』を参照してください。お使いの Fiery サーバーが PPML をサポートしているかどうかを調べるには、『印刷』を参照してください。

メモ： Fiery Impose の全機能を使用するには、アプリケーションの有効ライセンスが必要です。それ以外の場合は、Fiery Impose はデモモードで使用できますが、ジョブは「デモ」というウォーターマークが入った状態で保存されます。

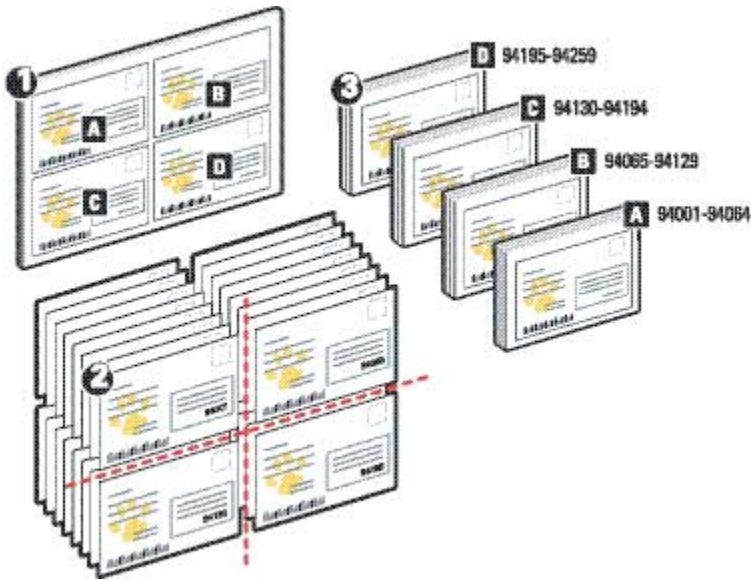
例：PPML と面付けのワークフロー

例として、5 x 8 インチの郵便ハガキを 30,000 枚印刷します。各ハガキの表面には画像とテキストを印刷し、裏面にはバーコード付き顧客名を印刷します。

郵便ハガキの印刷内容は PDF ファイルに格納されています。郵便ハガキの宛名および宛先住所は Microsoft Excel ファイルに格納されています。VDP アプリケーションでマスターデータとバリエーションデータをマージした文書を作成し、PPML ファイルを作成します。

11 x 17 インチの 1 ページの両面に 4 枚のカードを印刷できます。用紙を裁断した後、正しい郵便番号順で積み重ねられるようにハガキを面付けすることもできます。

次の図は、ジョブの面付けおよびソート方法を示しています。



- 1 11x17 インチの用紙
- 2 完成した郵便ハガキ
- 3 5x8 インチの郵便ハガキ

面付けに PPML を使用して郵便物を印刷する

この例では、サードパーティ製アプリケーションを使用してマスターデータとバリエーションデータをマージした文書を作成し、Command WorkStation で Fiery Impose を使用してジョブを面付けします。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- VDP アプリケーション
 - PPML ファイル
 - Fiery サーバー
 - Fiery Impose を使用した Command WorkStation (ライセンスが必要)
- 1 VDP アプリケーションを使用してマスターデータとバリエーションデータをマージした文書を作成し、PPML ファイルとして保存します。
 - 2 Command WorkStation する PPML ファイルをインポートして、ファイルを選択します。
 - 3 **アクション** > **面付け** をクリックし、**ギャングアップ** と **カットスタック** を選択します。
 - 4 以下の設定を適用します。
 - シートリストから、**11 x 17** のシートサイズを選択します。
 - 両面リストから、**オン** を選択します。
 - レイアウト方向リストから **横** を選択します。
 - レイアウト行と列フィールドに **2 行** と **2 列** を指定します。

- マークボックスの一覧から**定義**を選択し、**トリムマークの印刷**チェックボックスをオンにします。
- **OK** をクリックします。
- **スケーリング**リストから**カスタム**を選択し、**スケール係数**フィールドに **100** と入力します。
- **スタックサイズ**フィールドに **64** と入力します。

メモ：一般的な裁断機は一度に 64 枚のシートを裁断できます（この値はレイアウトの「ギャングアップ」値の倍数でなければなりません。この例では、2 行と 2 列で 1 シートにつき 4 つの画像が配置されるので、スタックサイズは 4 の倍数になります）。

- 5 ジョブを印刷します。
- 6 **Fiery Impose** コントロールストリップをチェックして、セット情報が正しいことを確認します。
このアクションにより、正しく印刷されなかったページをチェックして、そのページだけを後で印刷することができます。
- 7 1 つのドキュメントを印刷して、マスターとバリアブルの情報がマッチしているか確認してください。

FreeForm を使用した VDP のワークフロー

バリエブルデータ印刷 (VDP) は、印刷ジョブで使用するテキストと画像を格納したデータベースに印刷ジョブをリンクします。通常、すべての文書に共通に用いられるマスターデータと、出力ごとに異なるバリエブルデータを組み合わせて印刷します。

メモ：FreeForm を使用した VDP は、すべての Fiery サーバーでサポートしているわけではありません。使用している Fiery サーバーとプリンターのサポート状況については、『印刷』を参照してください。

マスターデータとバリエブルデータは、一般的なソフトウェアを使用して作成できます。また、マスターデータとバリエブルの割り当ては、Command WorkStation、Fiery Hot Folders、またはプリンタードライバを使用して行います。

サポートされているサードパーティ製アプリケーションを使用して、マスターデータとバリエブルデータを PPML または Creo VPS 形式で作成した場合、そのサードパーティ製アプリケーションから直接 Fiery サーバーへバリエブルデータ印刷ジョブを送信することが可能です。ホットフォルダーを使用してファイルをダウンロードすることもできます。

FreeForm を使用すれば、プリントオプションを使用してマスターデータ (FreeForm マスター) を定義し、Fiery サーバーに保存することができます。バリエブルデータのジョブを Fiery サーバーに送信する際に、どの FreeForm マスターと組み合わせるかを指示して送信することができます。

このワークフローには、以下の制限が適用されます。

- FreeForm ジョブは直接接続に送信することはできません。
- プリンタードライバで双方向通信が設定されている場合、プリンタードライバは Fiery サーバーに保存されているマスターを検索することが可能です。保存済み FreeForm マスターは、必要に応じて複数のバリエブル要素セットと印刷することができます。
- システム管理者が Fiery サーバーの初期化を行うと、FreeForm マスターはすべて削除されます。『設定管理とセットアップ』を参照してください。

例：FreeForm を使用した VDP のワークフロー

例として、学校に関する情報を記載した郵便物を印刷します。郵便物には、返信用ハガキが同封されています。

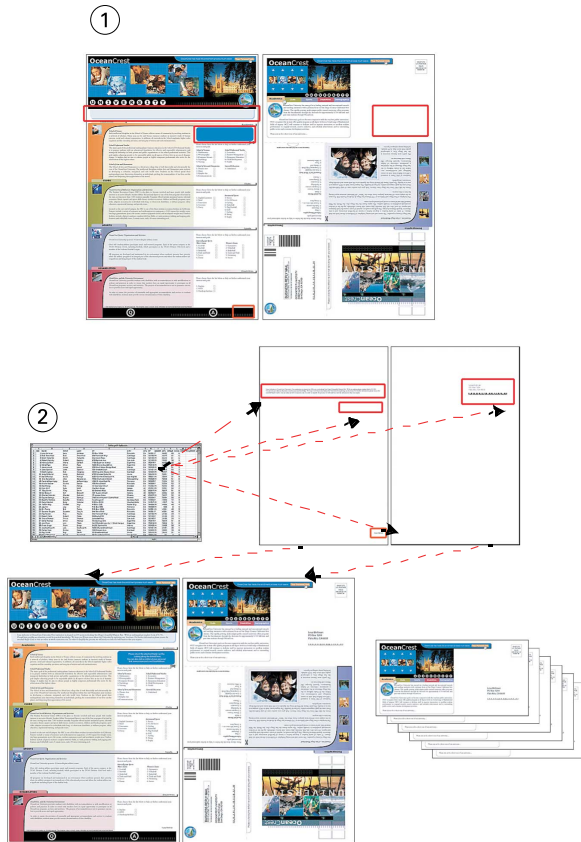
文書には、学生の名前、住所、および個人用ウェブリンクが記載されます。グラフィックが多いデザインで、11 x 17 インチの用紙に印刷し 3 つ折りにします。

FreeForm を使用すると、すべてのページに共通の、グラフィックを多く含んだレイアウトをラスタライズして保存できます (ジョブを一度だけ送信して処理)。バリエブルデータ (住所、名前、およびウェブリンク) は、別途印刷して Fiery サーバーでグラフィックレイアウトにマージします。

このジョブの作成に特殊な VDP ソフトウェアは必要ありません。FreeForm マスターの作成には、任意のページレイアウトアプリケーションを使用できます。バリエブルデータの作成と印刷には、一般的な差し込み印刷機能を使用できます。

この例では、すべての共通要素を含むマスター文書を作成して、PDF ファイルとして保存します。その後、Microsoft Word でバリエーション文書を作成して、その文書をデータベース（Microsoft Excel ファイル）にリンクします。

次の図は、この郵便物の構成要素を示しています。



- 1 マスターファイル
- 2 データベースファイル

FreeForm を使用して VDP のサンプルを印刷する

この例では、FreeForm と Microsoft Word を使用してバリエーションデータの郵便物を印刷します。このプロセスを完了すると、マスターファイルとバリエーションファイルが Fiery サーバーで結合され、郵便物にはマスターデータとバリエーションデータを結合したものが含まれます。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- マスター文書（PDF 形式）
- バリエーション文書（Microsoft Word 形式）
- データベースファイル（Microsoft Excel 形式）
- Fiery サーバー

- FreeForm 機能のある Fiery サーバープリンタードライバー
 - Adobe Acrobat、Microsoft Word、Microsoft Excel
- 1 Adobe Acrobat でマスター文書を開きます。
 - 2 ファイルを Fiery サーバーに出力します。
 - 3 プリンタードライバーで、次の設定を適用します。
 - **用紙**アイコンをクリックし、**書類サイズ**一覧から **11x17** のシートサイズを選択します。
 - **レイアウト**アイコンをクリックし、両面印刷を指定します。
 - **バリエブルデータ**アイコンをクリックし、**マスター作成**リストから **1** を選択します。
 - 4 Microsoft Word でバリエブル文書を開きます。

バリエブル文書を開くと、リンクされているデータベースファイルも開きます。文書がリンクされていない場合、Microsoft Word はデータソースファイルの場所を参照するためのプロンプトを表示します。
 - 5 Microsoft Word で**差し込み文書**を選択します。
 - 6 手順 3（16 ページ）で指定した設定でファイルを Fiery サーバーに印刷します。

FreeForm 2 と用紙種類の混合を使用した VDP のワークフロー

FreeForm 2 は、FreeForm の機能を拡張したものです。FreeForm 2 機能を備えた互換性のあるサードパーティ製印刷アプリケーションを使用することで、複数ページのマスターを作成でき、ドキュメントをさらにカスタマイズすることが可能です。

ジョブに指定した用紙種類の混合設定は、レコード開始に合わせて全レコードに適用されます。たとえば、用紙種類の混合で 1 ページ目を厚紙で印刷するよう設定されている場合、全レコードの最初のページは厚紙で印刷されます。

複数のマスターを使用することにより、バリエーション情報の同じデータベースを使用しながら、複数のマスターを定義することが可能です。

メモ：FreeForm 2 は、すべての Fiery サーバーでサポートされているわけではありません。お使いのプリンターが FreeForm 2 をサポートしているかどうかを確認するには、『印刷』を参照してください。

例：FreeForm 2 と用紙種類の混合を使用した VDP のワークフロー

例として、郵便広告を印刷します。このワークフローでは、さまざまな種類の人物、よく使用する器具、および背景の画像で構成されるデータベースを使用します。

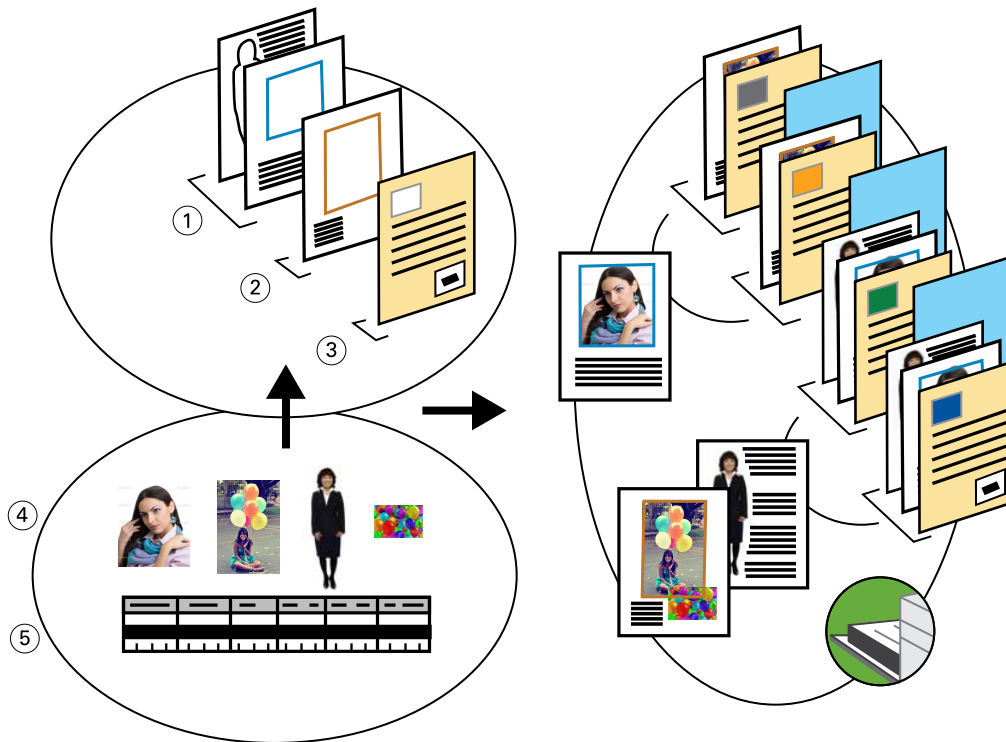
VDP アプリケーションと宛先の顧客に合った画像を使用して、7 才から 10 才までの女の子を持つ親向けの広告と、7~10 歳の男の子を持つ親向けの広告を一度の印刷で作成できます。広告には、対象年齢の子供の画像を取り込みます。

各広告には、顧客の名前と割引クーポンが入った表紙が付きます。女の子の親向けの広告には、女の子向け衣類を宣伝するページを追加します。

広告の長さが異なる場合があるため、新しい広告の始まりを示す白紙を広告と広告の間に入れます。

VDP アプリケーションを使用して、マスターとバリエーションを組み合わせた文書を作成します。

次の図は、この郵便物の構成要素を示しています。



- ① 女の子向けテンプレート
- ② 男の子向けテンプレート
- ③ クーポンテンプレート付きレター
- ④ グラフィック
- ⑤ データベース

FreeForm 2 と用紙種類の混合機能のある VDP を使用してサンプルを印刷する

サンプル文書を印刷する場合、VDP アプリケーションで FreeForm 2 を指定してから、Command WorkStation を使用して適切な設定を指定します。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- VDP アプリケーション
- FreeForm 2
- マスターデータとバリエブルデータを格納した.psm ファイル
- PostScript ファイル
- Fiery サーバー
- 用紙種類の混合機能のある Command WorkStation
- 厚紙
- 普通紙

- 1 VDP アプリケーションで.psm ファイルを開き、FreeForm 2 を指定してファイルを Fiery サーバーに出力します。
- 2 **印刷**ウィンドウでマスターデータとバリエーションデータの両方を送信します。
Fiery サーバーはマスターとバリエーションの組み合わせられた PostScript ファイルを受信します。
- 3 Command WorkStation で PostScript ファイルを選択します。
- 4 **アクション** > **プロパティ** をクリックし、**メディア** アイコンをクリックします。
- 5 以下の設定を適用します。
 - 用紙種類の混合の**表紙定義**で用紙の種類に厚紙を指定し、さらにその用紙トレイを選択します。
 - 用紙種類の混合の**新規インサート**から、最終ページの後に白紙を挿入するように指定し、使用する用紙トレイを指定して**挿入**をクリックします。
- 6 ジョブを処理して待機します。
- 7 ジョブをプレビューします。
- 8 ジョブを印刷します。

Fiery Hot Folders のワークフロー

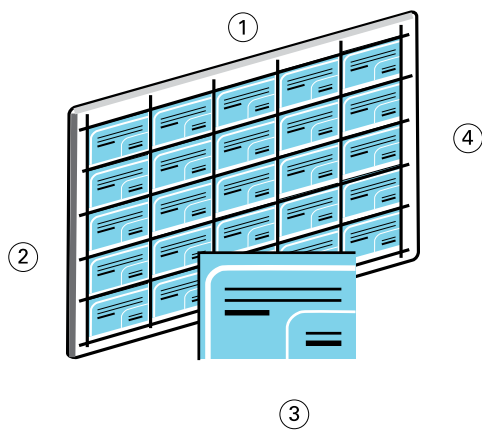
ファイルを Fiery Hot Folders にドラッグして、文書を印刷することができます。ホットフォルダーの設定に応じて、ジョブはホットフォルダー用の設定と一緒に Fiery サーバーに送信されます。

メモ: Fiery Hot Folders は、すべての Fiery サーバーでサポートされているわけではありません。お使いの Fiery サーバーが Fiery Hot Folders をサポートしているかどうかを確認するには、『ユーティリティ』を参照してください。

例：Fiery Hot Folders を使用してカードを印刷するワークフロー

例として、BusinessCards というホットフォルダーを使用して名刺を 25 枚印刷します。

次の図は、ジョブが名刺を面付けする方法を示しています。



- 1 5列
- 2 5行
- 3 2 x 3.25 インチの名刺
- 4 11 x 17 インチの用紙

Fiery Hot Folders を使用して名刺を印刷する

複数のユーザーがネットワーク上にある 1 つのホットフォルダーを使用して、ホットフォルダーで設定されているのと同じ面付け設定でジョブを印刷できます。

Fiery Hot Folders がシステムにインストールされていることを確認します。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- 2 x 3.25 インチの名刺を定義した PDF ファイル
 - Fiery サーバー
 - Fiery Hot Folders
 - Fiery Impose (ライセンスが必要です)
 - カード用紙等の 11 x 17 インチ厚紙
- 1 ネットワーク上の場所にホットフォルダーを作成します。
 - 2 **フォルダー名**フィールドに **BusinessCards** と入力します。
 - 3 **サーバー名**フィールドで**選択**をクリックし、サーバーアドレスを入力して、**接続**をクリックします。
 - 4 ジョブの**プロパティ**リストから**定義**を選択し、次の設定を適用します。
 - **ジョブ情報**アイコンをクリックし、25 部指定します。
 - **レイアウト** > **面付け** > **面付けテンプレート**の編集をクリックし、次の設定を適用します。
 - **ギャングアップ**、**反復**の順に選択します。
 - **シート**リストから、**11 x 17**のシートサイズを選択します。
 - **両面**リストから、**オフ**を選択します。
 - **レイアウト方向**リストから**横**を選択します。
 - **レイアウト行 & 列**フィールドに 5 行と 5 列を指定します。
 - **ページマーク**リストの一覧から**定義**を選択し、**トリミングークの印刷**チェックボックスにチェックを入れます。
 - **スケーリング**リストから**カスタム**を選択し、**拡大縮小率**フィールドに **100** と入力します。
 - **OK**をクリックします。
 - 5 **OK**をクリックしてウィンドウを閉じ、ホットフォルダーを作成します。
 - 6 名刺を格納した PDF ファイルを **BusinessCards** ホットフォルダーにドラッグします。
ジョブが印刷されます。
 - 7 ページマークに沿って名刺を裁断します。

Paper Catalog またはメディアカタログで Fiery Compose を使用するためのワークフロー

Fiery Compose と Paper Catalog またはメディアカタログを使用して、カラーの表紙、タブ、オペレーターが指定した章の開始を組み込んだ印刷物を作成できます。

メモ：Fiery Compose の全機能を使用するには、アプリケーションの有効ライセンスが必要です。

メモ：Fiery Compose、Paper Catalog またはメディアカタログは、すべての Fiery サーバーでサポートされているわけではありません。お使いの Fiery サーバーが Fiery Compose、Paper Catalog またはメディアカタログをサポートしているかどうかを確認するには、『ユーティリティ』を参照してください。

Fiery Compose は、Fiery サーバーで利用可能なオプションをダイナミックに表示できるアプリケーションです。例えば、ジョブにプリンタードライバーまたは Command WorkStation で設定された用紙種類の混合設定が含まれている場合、Fiery Compose でジョブを表示するときにこれらの設定が表示されます。

単一のジョブには、Fiery Compose を使用して以下の操作を行うことができます。

- サムネイル形式およびフルスクリーン形式でジョブをプレビューする
- 章の開始を設定し、章ごとに仕上げオプションを適用する
- おもて/裏表紙、本文ページ、セクションにそれぞれ異なる用紙を指定する
- 白紙、タブ、その他の書類をジョブに挿入する
- Adobe Acrobat などのアプリケーションを使用して文書を編集する

Paper Catalog とメディアカタログの概要

Paper Catalog とメディアカタログは、プロダクション印刷会社で使用可能なメディアにさまざまな属性を保存するシステムベースの用紙ウェアハウスデータベースです。

Paper Catalog とメディアカタログは、ショップで各用紙を一度定義すると、必要に応じて各ジョブに対してその 1 つの用紙設定だけを選択するメカニズムを提供します。

この 2 つのカタログの大きな違いは、用紙サイズの定義方法です。Paper Catalog では、用紙サイズごとに新しいエントリが必要です。メディアカタログを使用すると、サイズカタログで一意的なサイズ ID を持つ用紙サイズを作成し、複数のサイズを 1 つのメディアカタログエントリに割り当てることができます。詳細は、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

Paper Catalog とメディアカタログデータベースは Fiery サーバーに格納されています。Fiery サーバーの再起動/初期化を行ってもデータベースは影響を受けません。

メモ：Fiery サーバーは、Paper Catalog またはメディアカタログのいずれかをサポートしています。お使いの Fiery サーバーが Paper Catalog またはメディアカタログをサポートしているかどうかを確認するには、『ユーティリティ』を参照してください。

Paper Catalog とメディアカタログはカット紙プリンターでサポートされており、用紙属性をデバイス固有ではなく Fiery ドライバーで使用可能な PostScript プリンター記述 (PPD) 仕様または業界標準のジョブ定義形式 (JDF) 仕様に基づいて定義し、用紙を定義します。

次の表に、システム管理者が Paper Catalog またはメディアカタログを使用して実行できる操作を示します。

アクション	Paper Catalog	メディアカタログ
サイズカタログで用紙サイズを定義する		X
1つのカタログエントリに複数のサイズを割り当てる		X
Paper Catalog エントリを公開するには	X	
カタログエントリを編集する	X	X
複数の用紙属性の組み合わせを定義し、それぞれの組み合わせに一意の名前を割り当てる	X	X
メディアエントリごとにカラープロファイルを設定する	X	X
用紙をトレイに設定する	X	X
ジョブ送信時に定義済み用紙を選択する	X	X
ユーザーが使用できる属性の列を指定する	X	X
データベースを一元的に管理する	X	X

次の表に、システム管理者が Paper Catalog またはメディアカタログを使用して実行できる操作を示します。

アクション	Paper Catalog	メディアカタログ
用紙をトレイに設定する	X	X
ジョブ送信時に定義済み用紙を選択する	X	X

システム管理者が Paper Catalog またはメディアカタログを定義すると、オペレーターはジョブに使用する用紙を Fiery Compose から選択できるようになります。

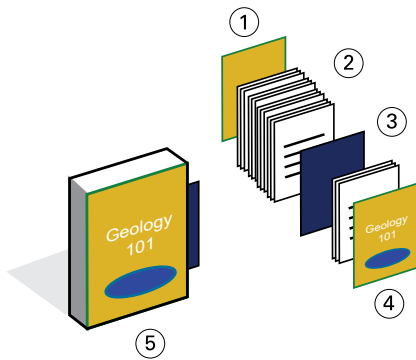
例: Fiery Compose を使用した Paper Catalog またはメディアカタログのワークフロー

例として、Fiery Compose と Paper Catalog またはメディアカタログを使用してハンドブックを作成します。このハンドブックは1つの PDF ファイルとして構成されており、章分けはされていません。

おもてと用紙裏表紙は金色の厚紙で、各章は右側のページから始まります。また、4 ページ目は納税申告用紙とラベリングされた青色のインデックス紙です。

メモ: おもて表紙と裏表紙には厚紙を、納税申告書にはインデックス紙を選択できます。

次の図は、このハンドブックの構成要素を示しています。



- 1 裏表紙は金色の厚紙に印刷
- 2 章の本文は普通紙に印刷
- 3 青色のインデックス紙
- 4 おもて表紙は金色の厚紙に印刷
- 5 完成したハンドブック

Fiery Compose と Paper Catalog またはメディアカタログを使用してハンドブックを印刷する

このワークフローでは、Fiery Compose を使用してハンドブックを編集し、おもて/裏表紙を追加し、章の開始を指定します。

ゴールドの表紙と青色のタブストック用の用紙エントリは、Paper Catalog カタログまたはメディアカタログで作成する必要があります。おもて表紙と裏表紙にはすべての厚紙を選択できます。Paper Catalog またはメディアカタログのメディアエントリの作成の詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

このワークフローでは、以下のものを使用します。

- ハンドブックの内容を含む PDF ファイル
- タブ印刷をサポートする Fiery サーバー

メモ：タブ印刷は、すべての Fiery サーバーでサポートされているわけではありません。お使いの Fiery サーバーがタブ印刷をサポートしているかどうかを確認するには、『ユーティリティ』を参照してください。

- Fiery Compose を使用した Command WorkStation（ライセンスが必要）、および Paper Catalog またはメディアカタログ
 - ゴールドのおもて/裏表紙の用紙
 - 各章の本文用の普通紙
 - 青色のインデックス紙
- 1 Paper Catalog またはメディアカタログで金色の表紙の用紙と青色のタブ用紙を選択し、用紙と例の関連付けを使用してその用紙を適切なトレイに割り当てます。
 - 2 PDF ファイルを作成して Command WorkStation にインポートします。
 - 3 ジョブを右クリックし、プロパティをクリックします。
 - 4 両面印刷およびホチキス止めを指定します。

- 5 Command WorkStation でジョブを選択し、**アクション > 作成**をクリックし、**ページビュー**を表示します。
- 6 以下のようにページ設定を指定します。
 - ジョブの全ページを選択し、右クリックして**レターサイズ**の用紙を割り当てます。
 - ジョブの最初のページを選択し、**表紙**を選択し、外側に印刷されるおもて/裏表紙を指定して、Paper Catalog またはメディアカタログから**ゴールドの表紙ストック**用の用紙を選択します。
 - 最初の章の 1 ページ目を選択し、**章開始**をクリックします。ハンドブック各章の最初のページにこの作業を繰り返します。
- 7 4 ページ目を右クリックし、**タブ挿入**を選択して、Paper Catalog またはメディアカタログからタブ用紙を割り当てます。
- 8 このタブを右クリックし、**納税申告用紙**と入力して **OK** をクリックします。

ジョブで使用するタブは 1 つのみで、使用しているタブ用紙に他の位置のタブがある場合、Fiery サーバーはジョブで指定されたタブにのみ印刷し、残りは空白のまま出力します。
- 9 ジョブを保存します。
- 10 ジョブを印刷します。

複数部印刷する前に、1 部のみ印刷して校正作業を行います。